

## 在宅看護援助論

2 単位 (必修) 3 年

### Methodology of Home Care Nursing

多田 敏子・教授 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座, 松下 恭子・准教授 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座  
 藤井 智恵子・講師 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座, 岡久 玲子・助教 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座

【授業目的】在宅看護の実践に必要な知識、技術についてその成り立ちの基礎となる根拠と手技について学習する。

【授業概要】在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な、知識・技術について学習する。在宅看護学実習の基盤となる科目として、その根拠と技術内容、また在宅療養者を援助する方法をイメージ化できるように、事例学習を通して療養者と家族の健康問題をアセスメントし、援助する方法について教授する。

【キーワード】在宅ケア、在宅看護技術

【先行科目】『在宅看護学概論』(1.0)

【関連科目】『在宅看護学概論』(0.5), 『地域看護学概論』(0.5), 『看護技術 I』(0.5)

【履修上の注意】グループワーク時には役割と目的を明確にし、積極的に取り組むこと。

【到達目標】在宅看護の実践に必要な知識・技術について、根拠と手技を理解する。

#### 【授業計画】

1. 家庭訪問時の面接技術 (1)
2. 家庭訪問時の面接技術 (2)
3. 在宅における移動の援助 (1)
4. 在宅における移動の援助 (2)
5. 在宅における清潔の援助 (1)
6. 在宅における清潔の援助 (2)
7. 在宅における食と栄養に対する援助 (1)
8. 在宅における食と栄養に対する援助 (2)
9. 在宅における食と栄養に対する援助 (3)
10. 在宅における排泄の援助 (1)
11. 在宅における排泄の援助 (2)
12. 在宅における排泄の援助 (3)
13. 在宅における呼吸の援助 (1)
14. 在宅における呼吸の援助 (2)
15. 在宅における緊急時・災害時のケア (1)
16. 在宅における緊急時・災害時のケア (2)
17. 在宅における終末期のケア (1)
18. 在宅における終末期のケア (2)
19. 在宅看護における記録 (1)

20. 在宅看護における記録 (2)

21. 事例をもとにグループワーク (1)

22. 事例をもとにグループワーク (2)

23. 事例をもとにグループワーク (3)

24. 事例をもとにグループワーク (4)

25. グループワーク発表 (1)

26. グループワーク発表 (2)

27. グループワーク発表 (3)

28. グループワーク発表 (4)

29. グループワークの振り返りとまとめ

30. テスト

【成績評価】定期テストを行なう。筆記試験、グループワークの参加度、レポートから総合的に評価する。再試験は1回のみ行う。

#### 【教科書】

- ◇ 木下由美子編, エssenシャル在宅看護学, 医歯薬出版 (在宅看護学概論で購入済)
- ◇ 櫻井尚子編, ナーシング・グラフィカ 21 地域療養を支えるケア 在宅看護論, メディカ出版 (ケアマネージメントで購入済)

#### 【参考書】

- ◇ 川村佐和子監修, 実践看護技術支援テキスト在宅看護論, 日本看護協会出版会
- ◇ 岡崎美智子編, 在宅看護技術, メジカルフレンド

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217838>

#### 【連絡先】

⇒ 松下 (保健学科 3 階, 088-633-9037, [matusita@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:matusita@medsci.tokushima-u.ac.jp))  
 MAIL (オフィスアワー: 毎週火曜日16:00以降)